



請 願 書

(請願名) 「安全保障関連法を廃止することを国に求める」

意見書の提出方請願

紹介議員

米沢市議会議員	我妻 徳雄
"	高橋 壽
"	相田 克平
"	
"	
"	
"	

請願者住所 米沢市塩井町塩野 1 - 1

氏 名 (団体の場合は団体名及び代表者名)

憲法 9 条を護る米沢市民の会

共同代表 九里 廣志  
 高橋 寛  
 高橋 敬一  
 中村 平治  
 玉虫 ナミ



電 話 0 2 3 8 ( 2 1 ) 0 1 9 1

平成 2 8 年 2 月 1 7 日

米沢市議会議長 様

## 様式 13 - 2

(請願の要旨又は理由)

### 要旨

第189回国会において、昨年9月19日に可決・成立した「集団的自衛権の行使容認を含む安全保障関連法」を、廃止することを求めるための意見書を国会及び政府、関係機関に提出して下さるようお願いいたします。

### 理由

政府は、昨年7月15日の衆議院特別委員会および翌16日の衆議院本会議において、平和安全法整備法案および国際平和支援法案（以下「安保関連法案」「本法案」）を強行採決させました。また、昨年9月17日に参議院特別委員会で本法案の採決を強行し、同月19日未明に参議院本会議で可決・成立させました。

この安保関連法案は、衆・参特別委員会における参考人をはじめ、多くの憲法学者、有識者、文化人らが違憲であると断じています。

これまで歴代の内閣は、「集団的自衛権の行使は、憲法上許されない」とし、「自衛権の行使は、我が国を防衛するため必要最小限の範囲にとどまるべきである」との解釈で、30年以上もこうした立場を維持してきましたが、その解釈を一政府が一蹴し、本法案を成立させたことは、立憲主義、国民主権を根底から否定するものであり到底容認できません。

こうしたことから、安全保障関連法の廃止を求めるための意見書を国会並びに関係機関に提出して下さるよう、地方自治法第124条の規定によりお願いいたします。

### 【請願事項】

1. 安全保障関連法を廃止すること。